

地域資源を保全し地域に密着した活動を展開

—地域社会の振興機能—

農事組合法人ひまわり、庄手・梶木地区営農組合



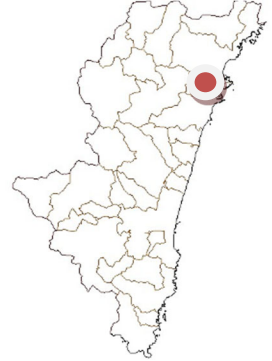
庄手・梶木地区の田園風景



集落入り口に設置された看板

日向市の北部に位置し、耕地の大半を水田が占める庄手・梶木地区では、遊休農地の発生、担い手不足等の問題解決のため、平成 23 年に地元農家を中心に「農事組合法人ひまわり」（経営面積 17.4ha、作業受託約 17ha、構成員数 56 名：平成 28 度）を設立した。

同法人では、ホタルの乱舞する庄手川の清らかな水を利用し、特別栽培の米づくりに取り組んでいるほか、庄手・梶木地区営農組合の農地水環境部会と共に、地区の子供たちに地域の自然や環境保全の意識を持ってもらうため食育・食農教育を通じた世代間交流を実施するなど、地域に密着した活動を展開している。



ひゅうが
宮崎県日向市

【地域社会の振興】

同法人では、毎年実施する土壌診断結果に基づいたほ場の管理を行っているほか、堆肥を入れた土づくりを行い特別栽培米（農薬・化学肥料が慣行の 1/2 以内）の生産を平成 19 年から取り組んでいる。特別栽培米は、平成 24 年 3 月に法人でエコファーマー認定を受けたほか、日向市の特別栽培の認証である日向市環境保全推進協議会の減農薬・減化学肥料栽培の認証も受けるなど食の安全・安心を追求しており、「日向市ふるさと農産物」として出荷され、環境にやさしい米づくりを実践している。

同法人をはじめ、庄手・梶木地区営農組合の農地水環境部会では、地域農業を維持するために先代が守ってきた土地を後世に引き継ぐため、農地を守りながら地域に密着した活動を展開している。

【体験学習と教育】

毎年開催されるワクワク田植探検隊及び稲刈り探検隊は、子供と保護者併せて約 120 名が参加するビッグイベントで、参加者募集は同市内の NPO 法人こども遊センターが行い、現場の設定や特別栽培米コシヒカリのおにぎり等の準備は同農地水環境部会が役割を担い連携しながら実施している。また、ワクワク水生動物調査を開催し、子供たちに地域の自然や環境保全の意識付けも実施している。

【令和 2 年度更新】



ため池・水路の管理作業の様子（上）、
田植え・収穫の様子（下）



特別栽培米コシヒカリ

体験学習の様子



↑
ワクワク
田植探検隊
(6月)



↑
ワクワク
水生動物調査
(8月)



↑
ワクワク
稲刈り探検隊
(10月)

